

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

Tel 3790-1523



発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

区議団 e-mail info@jcp-shinagawa.com

JR 東日本が八潮3丁目に建設予定の

ごみ処理施設 これ以上 増やさないで

JR東日本は、首都圏の各駅から出るごみ処理施設を八潮3丁目につくる計画を進めています。問題は、「混在ごみ」と「廃プラスチック」ですが、6月11日にJR尾久車両センターに行き作業現場を見てきました。

**分別するとうもの
最終処分まで見届
けられないという問題**

JR東日本が100%出資してつくった(株)東日本環境アクセスが首都圏各駅から出るごみ処理をしている現場に行き、処理作業を見てきました。

2人の方が「混在ごみ」をリサイクルするために手作業で選別。缶・ビン・ペット・駅弁などの容器ごとに分けていました。

しかし、問題があると思うのは、駅弁などの容器の処理です。これらの材質は廃プラスチックです。(株)東日本環境アクセスの作業は分別まで、後は別の業者が引き取っていくというのです。どのような処理をしてどのようにリサイクルされるのかは見届けられていません。詳しく聞いてみると、「契約している業者が更に選別して、有価物と

そうでないものに分け、有価物は資源として再利用され、そうでないものは最終処分場に行く」という説明でした。

つまり、分別するとうもの最終処分まで見届けていないのです。さまざまな業者がかかわっていく中でリサイクルしているとうもの最終処分はどうなっているのかつかないのでは、事業者としての責任を果たしているとはいえません。

品川区の廃プラ処理を(株)東日本環境アクセスに委託するとう問題

品川区は、今年10月から全区で廃プラを分別します。その量はおおよそ7トン。

現在のモデル実施分の処理は民間事業所ですが、間に合わないで(株)東日本環境アクセスに委託するとう計画です。つまり、JR東日本の処理施設建設計画にちやっかり

便乗したのです。

廃プラを分別・リサイクルするのは当然なのでその

作業所が必要になるのは理解しますが、圧縮するとプラスチックがこすれて熱が出て、目やのどが痛くなる

などの健康被害が各地に出ています。このようなことは起きないのか、そうした

場合どのような対応をするのかなど聞くと、区は「何も問題ない」と言ってそれ

以上の説明はしません。これでは不安は解消されません。問題ないという根拠を

明確にするべきです。

住民説明会と協定書締結は必要

JR東日本は、住民説明会を6月20日に開催しましたが、八潮3丁目の建設予定地周辺の事業所だけを対

称にしたものでした。八潮団地の住民にもきちんと知らせるべきです。

南は現地調査で会ったJRの担当者にも口頭ですが要請しました。

また、協定書を作り、計画内容以外の事業はしないこと、変更時は、事前に住

民と話し合い、合意をした上で実施することをなどを確認する必要があります。

これは、4年前のダイオキシン問題が明らかになった時の教訓です。

民間処理業者と区で交わした協定書があったものの、

いつのまにか改定されていて、処理できるごみの規定が拡大されていたためにダイオキシン処理を受託でき

る事業所になっていたので。当初の計画を変更する際は、事前に住民説明会を開かせ、住民合意を得る。

これは譲れない条件だと思えますが、みなさんはいかがですか。

ごみ処理費用の自治体負担は増える一方 生産者責任を明確にすべき

JR東日本は責任の一端を果たしています。

しかし、「混在ごみ」でリサイクルされない残ったごみは、自治体の清掃工場で焼却されます。燃やす事で

CO2が増えるので、燃やさなくていいように生産段階で考慮しなければなりません

が、生産する企業が、技術があっても利益率が悪いとしてそうならないので

です。企業が生産者としての自覚と責任をしっかりと持つ

べきで、国と自治体は指導しないと税金による処理費用が増え続けるだけです。

JR東日本も社会的な発言をする必要があると思います。処理能力を上げても限界は必ず来るでしょう。

第2回定例区議会が始まりました

6月23・24日は総務委員会です。総務委員会では、4本の工事契約が審議されます。

ひとつは区役所本庁舎の免震工事。36億円です。入札は総合評価制度という初めての手法で清水建設に決まりました。

また、平塚・荏原西一貫校の建設工事の落札業者が決まらず、随意契約で戸田建設に決めたものの、鉄鋼材料の高騰で3.37億円の増額になるという補正予算案も審議されます。

みなさんどう思いますか。ご意見を伺いたいです。

このニュースをお読みになって、ご意見やご要望などありましたら、お気軽にお寄せください。電話(3790)1523